

埼玉県内企業の 2020 年度上半期および通期業績見通し調査

調査企業：県内企業 542 社 調査方法：アンケート方式（7 月 21 日～8 月 25 日）

回答企業：201 社※(回答率 37.1%) 業種別内訳：製造業 110 社 非製造業 91 社

※ 回答企業は 201 社であるが、設問ごとに回答数が異なっている。

要旨

- 埼玉県内企業の 2020 年度業績見通しは、新型コロナウイルス感染症拡大の打撃を受けて、「減収」^(注)、「減益」^(注)を見込む企業が大幅に増えている。

2020 年度業績見通しを全産業で見ると、売上高については、上半期・通期ともに、「増収」とする企業の割合が、「増収」^(注)とする企業の割合を大幅に上回った（売上高「増収」-「減収」：上半期▲58 ㊦、通期▲55 ㊦）。売上高が「2 割超の減少」を見込む企業の割合は、上半期 29%、通期 24% となっている。

経常利益についても、上半期・通期ともに、「減益」とする企業の割合が、「増益」^(注)とする企業を大きく上回った（経常利益「増益」-「減益」：上半期▲52 ㊦、通期▲56 ㊦）。経常利益が「2 割超の減少」を見込む割合は、上半期 34%、通期 33% となっている。

- 前回の 2019 年 8 月調査（以下、前回調査）と比較すると、売上高（「増収」-「減収」）では、上半期▲61 ㊦、通期▲63 ㊦、経常利益（「増益」-「減益」）では、上半期▲47 ㊦、通期▲52 ㊦と、いずれも大幅な悪化となっている。

- 2020 年度上半期売上高が「減少」と回答した企業に、コロナ禍前の水準に回復するまでに要する期間について聞いたところ、全産業では、「分からない」が 34%で最も多く、次いで、「2 年」が 29%、「1 年」が 19%となっている。「3 年以上」は 15%で、「戻らない」は 3%であった。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、景気の先行き不透明感が払拭できないことから、売上の回復に「2 年以上要する」と見込む企業（「2 年」および「3 年以上」とする割合の合計）が 4 割、また、「分からない」とする企業が 3 割に上っている。

（注）増収、増益＝「10%超の増加」、「10%以内の増加」の割合の合計

減収、減益＝「10%以内の減少」、「10%超～20%以内の減少」、「20%超～30%以内の減少」、「30%超の減少」の割合の合計

1. 2020 年度上半期売上高の見込み（有効回答数 201）

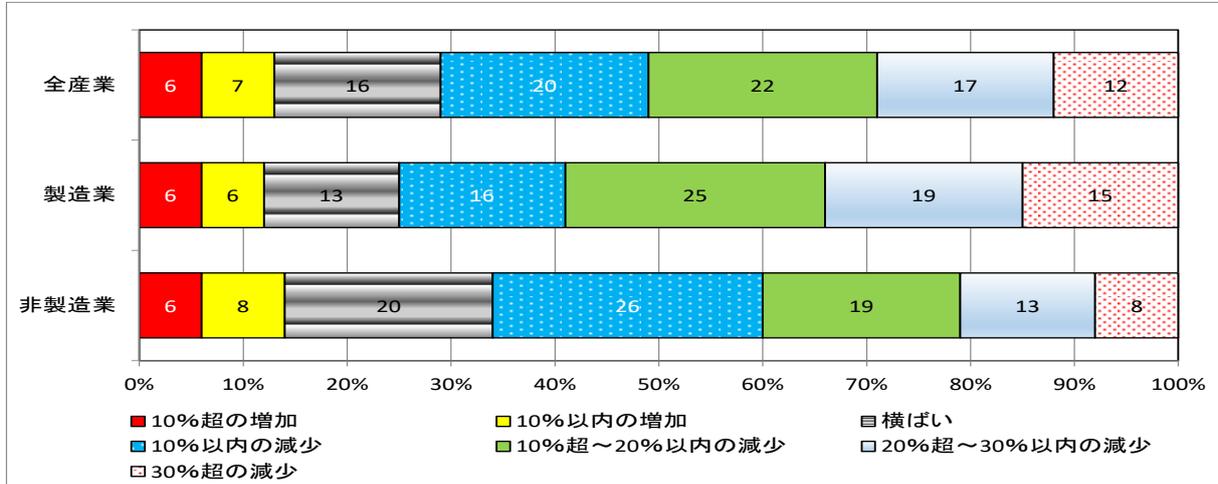
2020 年度上半期売上高の見込み（前年同期比、以下同様）について聞いたところ、全産業で「増収」は 13%となった。一方、「減収」を見込む企業は 71%に上っており、「減収」が「増収」を 58 ㊦上回った。上半期売上高を「20%超の減少」（「20%超～30%以内の減少」と「30%超の減少」割合の合計、以下同様）と見込む企業は、29%となっている。

前回調査と比べると、「増収」が 33%から 13%へ 20 ㊦減少し、「減収」が 30%から 71%へ 41 ㊦増加している。

業種別で見ると、製造業では、「増収」が 12%、「減収」が 75%と「減収」が「増収」を 63 ㊦

上回り、非製造業でも、「増収」が14%、「減収」が66%と「減収」が「増収」を52 ㊦上回っている。「20%超の減少」を見込む割合は、製造業で34%、非製造業では21%となっている。

図表 1. 2020 年度上半期売上高の見込み（前年同期比）



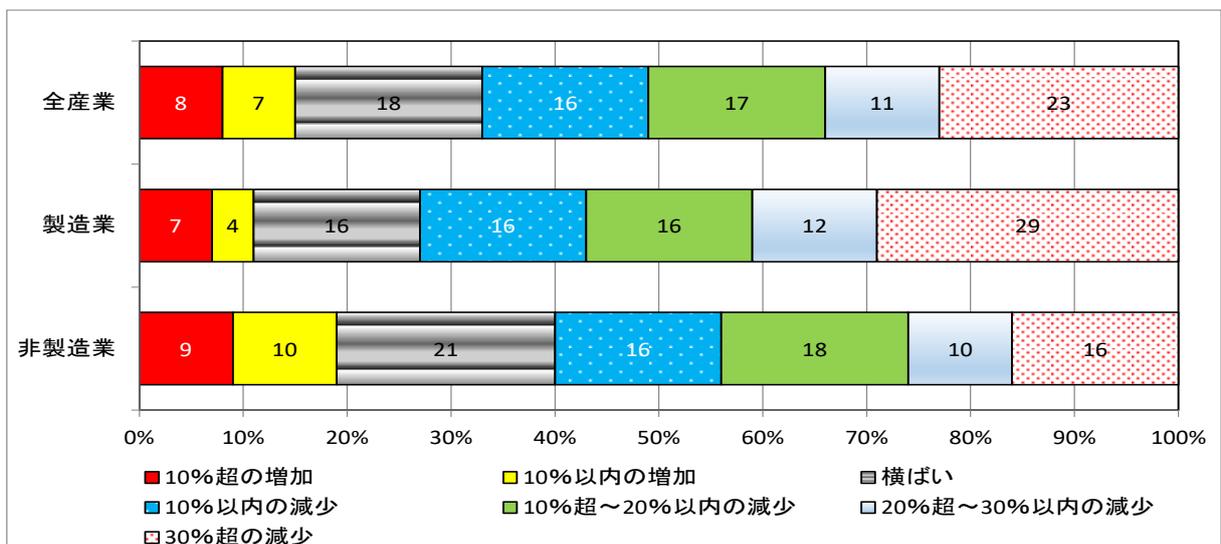
2. 2020 年度上半期経常利益の見込み（有効回答数 201）

2020 年度上半期経常利益の見込みについては、全産業で「増益」の割合は15%となった。一方、「減益」の割合は67%となっており、「減益」が「増益」を52 ㊦上回った。上半期経常利益を「20%超の減少」と見込む企業は、34%となっている。

前回調査と比べると、「増益」が29%から15%へ14 ㊦減少し、「減益」が34%から67%へと33 ㊦増加している。

業種別にみると、製造業では、「増益」が11%、「減益」が73%と「減益」が「増益」を62 ㊦上回り、非製造業でも、「増益」が19%、「減益」が60%と「減益」が「増益」を41 ㊦上回っている。「20%超の減少」を見込む割合は、製造業で41%、非製造業では26%となっている。

図表 2. 2020 年度上半期経常利益の見込み（前年同期比）



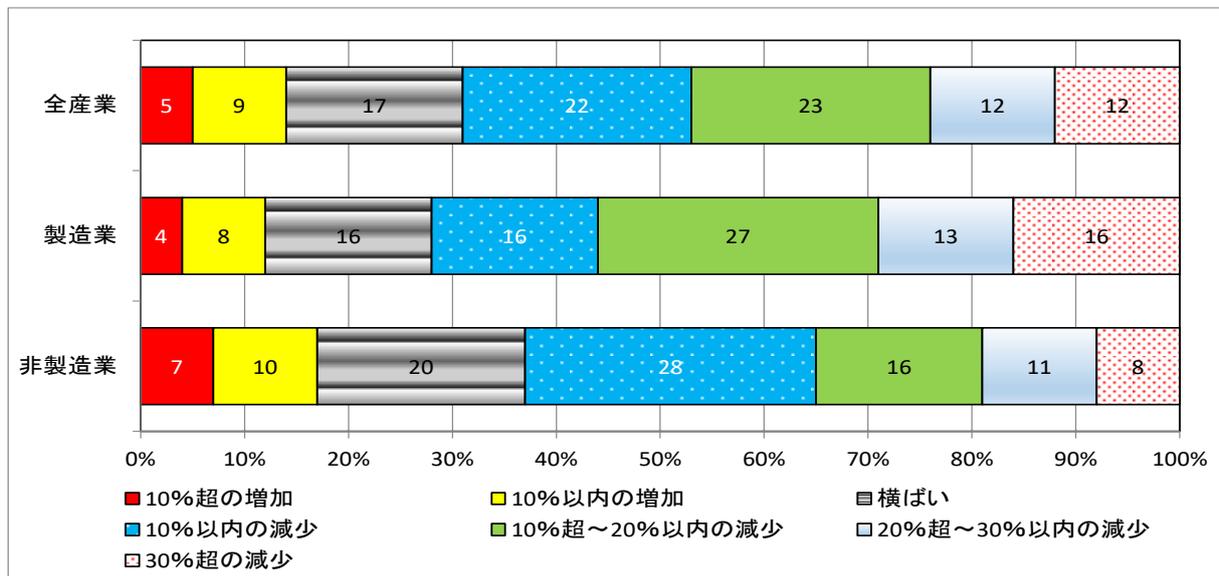
3. 2020 年度通期売上高の見込み（有効回答数 200）

2020 年度通期売上高の見込みについては、全産業で「増収」は 14%となった。一方、「減収」は 69%となっており、「減収」が「増収」を 55 ㊦上回った。「減収」を見込む企業の割合は、上半期（71%）とほぼ横ばいの結果となっている。通期売上高を「20%超の減少」と見込む企業は、24%となっている。

前回調査と比べると、「増収」が 33%から 14%へ 19 ㊦減少し、「減収」が 25%から 69%へ 44 ㊦増加している。

業種別でみると、製造業では、「増収」が 12%、「減収」が 72%と「減収」が「増収」を 60 ㊦上回り、非製造業でも、「増収」が 17%、「減収」が 63%と「減収」が「増収」を 46 ㊦上回っている。「20%超の減少」を見込む割合は、製造業で 29%、非製造業では 19%となっている。

図表 3. 2020 年度通期売上高の見込み（前年同期比）



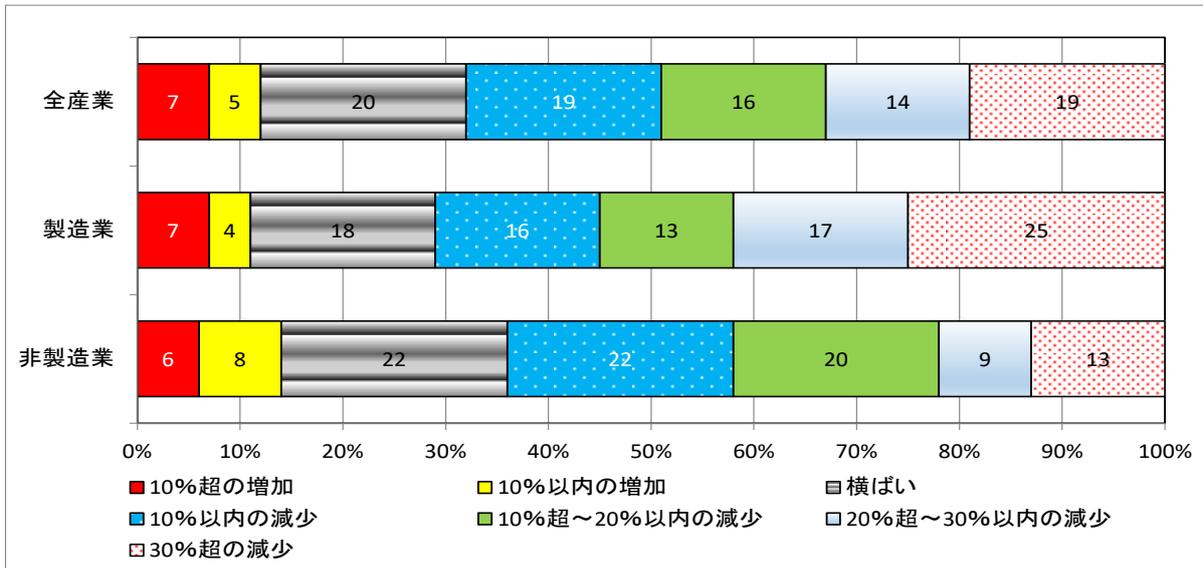
4. 2020 年度通期経常利益の見込み（有効回答数 200）

2020 年度通期経常利益の見込みについては、全産業で「増益」は 12%となった。一方、「減益」は 68%となっており、「減益」が「増益」を 56 ㊦上回った。「減益」を見込む企業の割合は、上半期（67%）とほぼ横ばいの結果となっている。通期経常利益を「20%超の減少」と見込む企業は、33%となっている。

前回調査と比べると、「増益」が 27%から 12%へ 15 ㊦減少し、「減益」が 31%から 68%へ 37 ㊦増加している。

業種別にみると、製造業では、「増益」が 11%、「減益」が 71%と「減益」が「増益」を 60 ㊦上回り、非製造業でも、「増益」が 14%、「減益」が 64%と「減益」が「増益」を 50 ㊦上回っている。「20%超の減少」を見込む割合は、製造業で 42%、非製造業では 22%となっている。

図表 4. 2020 年度通期経常利益の見込み（前年同期比）

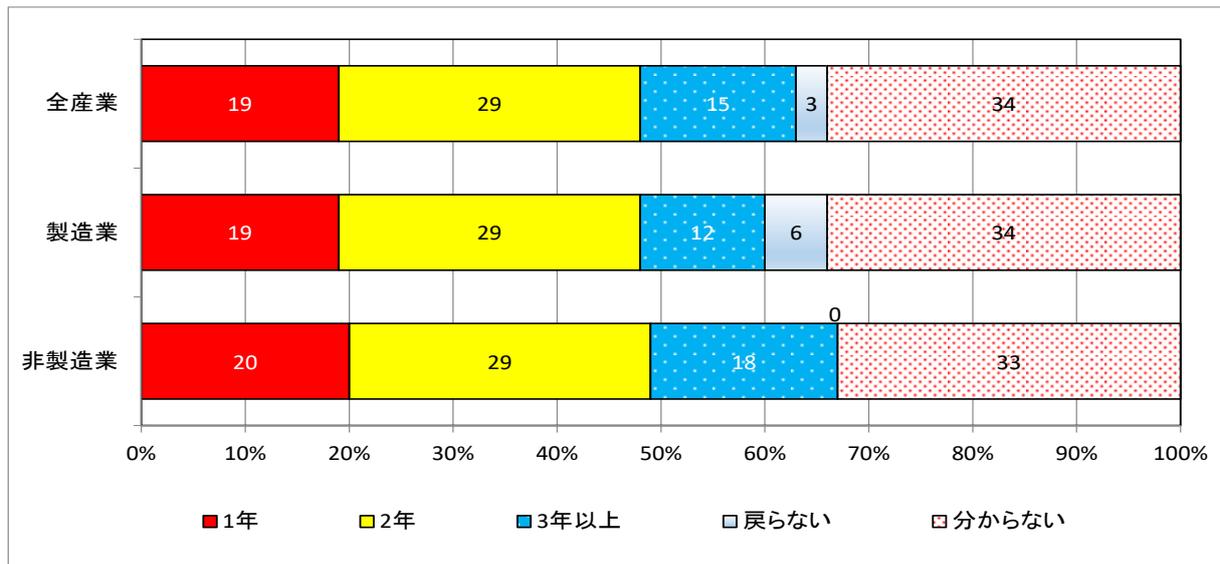


5. 売上高の回復見込み（有効回答数 143）

2020 年度上半期売上高が「減少」と回答した企業に、コロナ禍前の水準に回復するまでに要する期間について聞いたところ、全産業では、「分からない」が 34%で最も多く、次いで、「2 年」が 29%、「1 年」が 19%となっている。「3 年以上」は 15%で、「戻らない」は 3%であった。業種別にみても、製造業、非製造業ともほぼ同様の傾向がみてとれる。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、景気の先行き不透明感が払拭できないことから、売上の回復に「2 年以上要する」と見込む企業（「2 年」および「3 年以上」とする割合の合計）が 4 割、また、「分からない」とする企業が 3 割に上っている。

図表 5. 売上高がコロナ禍前の水準に回復するまでに要する時間



【参考】 図表6. 売上高(増収-減収)・経常利益(増益-減益)の前年度比較^(注)

(単位:ポイント)

		売上高(増収-減収)			経常利益(増益-減益)		
		2019年度(①)	2020年度(②)	前回調査比 (②-①)	2019年度(①)	2020年度(②)	前回調査比 (②-①)
全産業	上半期	3	▲ 58	▲ 61	▲ 5	▲ 52	▲ 47
	通期	8	▲ 55	▲ 63	▲ 4	▲ 56	▲ 52
製造業	上半期	▲ 5	▲ 63	▲ 58	▲ 15	▲ 62	▲ 47
	通期	3	▲ 60	▲ 63	▲ 11	▲ 60	▲ 49
非製造業	上半期	16	▲ 52	▲ 68	8	▲ 41	▲ 49
	通期	13	▲ 46	▲ 59	4	▲ 50	▲ 54

(注) 売上高(増収-減収) : 「増収」と回答した先の割合から「減収」と回答した先の割合を引いたもの
 経常利益(増益-減益) : 「増益」と回答した先の割合から「減益」と回答した先の割合を引いたもの

以 上